

## 次期総合計画の策定に係る各種審議会や委員会でいただいた御意見の概要

### 1 会の名称

岩手県森林審議会

### 2 県側出席者

農林水産部

政策地域部政策推進室

### 3 開催日時

平成 30 年 7 月 27 日（金） 14 : 45～16 : 00

### 4 主な御意見の概要

- ・ 各地で豪雨災害が発生し、森林整備や治山の問題が話題になっている中、計画でもしっかりと明記すべき。
- ・ 幸福度を県民に分かりやすくするため、市民所得や町民所得という言葉が使えないか。もっと丁寧で分かりやすいアプローチが必要ではないか。
- ・ これまでのGDP重視の考えの中、格差拡大と新しい貧困の誕生が明確にあり、それだけで良いのかという県民の思いは事実なので、そこを踏まえる必要がある。
- ・ 森林環境税や譲与税の動きが出ている中、森林組合や市町村、NPO、民間企業など様々な関係者の力を一つの総合力としてまとめ、森林県岩手を構築していくか、そういった考え方をメッセージとしてしっかりと位置付けてほしい。
- ・ 森林・林業への期待は大きくなる一方で、依然として、森林資源によるマーケットが成立していないという状況にあり、現実との大きな開きが生じている。この間を整合するような仕組みがないと分かりにくい。
- ・ 幸福を謳うのであれば、ぜひ「楽しむ」という視点を表現して欲しい。素案の中に、森を楽しむという要素が何もないことを寂しく思う。幸せを感じる時には、何か楽しいということがなければいけないと思う。